

ほっと♡ゆうばり

第35号・2010年9月1日 編集・発行：ゆうばり再生市民会議広報部



8月24日、清水沢研修センターにおいて、「夕張市の救急体制について」の学習会を開催しました。

お話は夕張市消防署消防長の鷺見英夫さんで、非常に明快でとてもわかりやすいお話でした。

*H19年3月までは…すべて市立病院へ

市の救急体制は、H19年3月までは、市立総合病院が一手に引き受けており、救急車が1台と3次救急に運ぶための転院専用の車のみでした。



*再建団体後は…救急車を2台に。

再建団体になったH19年4月以後は、市内で救急患者を受け入れる病院はなくなりました。

すべて市外へ搬送ということで、岩見沢や千歳、恵庭、特に札幌へとなれば往復3時間もの間、市内の救急車が不在になることから、救急車を2台体制に。

しかし、他市町の医療機関からは、「一次救急まで市外に運ぶのか」と難色を示されました。

そこで現在は、市内の医療機関すべてにご協力いただいて、1次救急は市内医療機関の輪番体制になっています。

…8月の学習会… 「夕張市の救急体制について」

救急車には必ず救急救命士が乗務しており、入院・手術が必要な場合は2次救急となり、岩見沢・札幌・恵庭・千歳などへ搬送します。
(編集部注:救急車が発進するまでに全国平均で25分程度。簡易な処置と搬送先を決める時間が必要です。救急隊の懸命な対処を信頼して待ちましょう。)

*ケースによって…“ドクターヘリ”も



3次救急は重傷・重篤な場合で、札幌医大・北大・手稲溪仁会・札幌国立などに搬送。一刻を争うときはドクターヘリを要請すると、約20分で夕張(消防署訓練棟横ヘリポート)に到着。「空飛ぶ救急治療室」と呼ばれ、医師と看護師が乗り込む万全の備えですが、運航は日の出から日没まで。夜間は使えないのと、天候に左右されるのが難点です。

迷ったり、悩んだり

*夜間・休日 したとき… **53-4122** へ

最後に、夜間・休日の急病で「救急車を呼んだほうがいいのか?」「どこの医療機関に行けばいいのか?」等の相談は**53-4122**(夕張市消防本部)まで。

24時間体制です。「救急車は要請されれば、必ず出動しますが、実際は軽症のこともあり、迷った時にはこの番号で相談を。そして日常的な健康管理、もしもの時に相談でき、専門医を紹介してもらえる、かかりつけ医を持ちましょう。」としめくりました。

(編集部注:夜間・休日の電話相談をしている医療機関もあるので、ご自分の先生にきいてみては?)

…ちょっと調べてみました… 出典:ウィキペディア

…初期(1次)救急医療とは…整備は市町村の責務

入院治療の必要がなく外来で対処しうる帰宅可能な患者への対応機関。整備は市町村の責務とされている。主に内科、外科を診療科目とするが、住民の要望の高まりと必要性から小児科を加える自治体もある。

・在宅当番医制(休日(日曜日・祝日)に診察を行う当番病院・診療所) ・休日夜間急患センター(人口5万人以上の市に1つ)

…2次救急医療とは…整備は道の責務

入院治療を必要とする重症患者に対応する機関。都道府県が定めた医療圏域(2次医療圏:夕張市は南空知)ごとに整備するため、市町村の垣根を越えた整備が必要ことが多い。近年は小児救急医療へ対応するため、通常の二次救急(内科、外科、脳外科等)とは別に小児二次救急医療の体制を独自に組む医療圏もある。肺炎、脳梗塞など。

…3次救急医療とは…整備は道の責務

2次救急医療では対応できない複数診療科にわたる特に高度な処置が必要、または重篤な疾患や多発外傷に対する医療、心筋梗塞、多発外傷、重症熱傷など。

救命救急センターや高度救命救急センター～道府県が運営、もしくは医療機関の開設者に要請をして設置するものであり、心筋梗塞や脳卒中、頭部損傷等、重篤な患者に対する救急医療を行うことが予定されている。このため、常時救命医療に対応できる医師や看護師等の医療従事者を確保しておくことが必要とされている。

・救命救急センター ・高度救命救急センター
・総合周産期母子医療センター

園泰子の見学レポート ～分別ごみリサイクルセンターに行って来ました～



分別（10品目）ごみ収集から約2カ月がたちました。新聞で埋め立てゴミが30%も減ったとの記事を読み、8月20日に真谷地のリサイクルセンターにおじゃましました。

仕分け圧縮作業の中、センター長の高田さん、市役所天野さん、小松さん、時々作業員の方に疑問点を伺いながら、見学させていただきました。

市の『分別ゴミの説明会』は30回以上実施され、約6000世帯中、のべ1000世帯の方が参加されたということです。

実は私は参加できなかった5000世帯のうちの一人で、「分別の表や本を見ればわかるだろう…」と。しかし、二度もXの紙を貼られました。（ハシと雑紙でした）もう一度本を見直しましたが、本当に申し訳ないと思った次第でした。「自分の反省と、私と同じような人がいるかも？」そんな動機で行って来ました。

I センター長のお話から …圧縮作業までの工程に 時間がかかる…



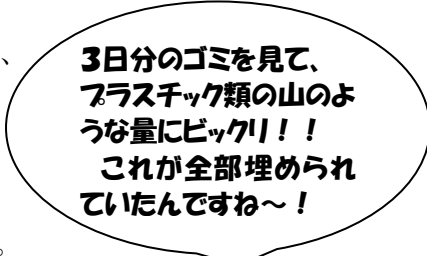
* 作業手順

- ・火・水・木：5人が車で回収し、5人が倉庫で回収物を各々集めた袋から出す。
- ・金・月：10人全員で3日分のゴミを、点検・仕分・圧縮・積み上げ・片づけ・業者へ引き渡し。

* この手順が必要な理由

- 1) プラスチック類は袋ごとに重ねて圧縮する。しかし、中にゴミが入っていることがしばしば…あやしい袋は（プラ弁当に残飯、別のものが混入）一つ一つ作業員の方が調べていました。

- 2) 紙類は袋から出し、紙袋に入れなおし重ねて圧縮する。
- 3) 上記の圧縮機の2台は容量が小さく何度にも分けるため。



3日分のゴミを見て、プラスチック類の山のよ
うな量にビックリ！！
これが全部埋められて
いたんですね～！

II 市職員のお話

- ・分別や汚れを落としてある袋を見ると「説明会に来た人かな？とうれしいねえ」とおっしゃっていました。



- （うん、その通り！作業がスムーズ！）
- ・面倒なことですが、リサイクルマークを確かめて各々袋に分けて出してください。
- （私がそうです。すみません。<(_ _)>）
- ・集合住宅などでは、まとめてくれれば引き取りに行くこともできますので、連絡を。説明会も要望があれば、いつでもどうぞ。

（是非、そんな利用もいいですね。）

・わからないこと等はいつでも



市役所市民課環境生活グループ
52-3108（月～金）へどうぞ。

リサイクルゴミの中に、汚い物、別の物などが多く入っていた場合、次年度からリサイクル業者に引き取りをしてもらえなくなります！！
（え～！困る。大変です…）

———ゴミはまだまだ減らせそう———

これから当分、いえずーっと？新しい埋め立て地の確保は、用地・施設・環境等考えると、私たち夕張市民の負担は莫大すぎるので、一人一人がコツコツとはじめの分別をルールに沿って仕分、袋に入れることを身につけること～もう一度自分のために書き出します。（右上表を見てください）再生会議では昨年分別ごみの初歩的概要の学習

- 1、ゴミとして出すものは**最小限**に。
- 2、リサイクルできるもので、**汚れのあるものは、サツとふく・サツと洗い**（洗剤入り溜め水で）・サツとすすいで出す。（ひどい汚れのものはゴミに。）
- 3、以前と仕分けの変わったもの
 - ・缶はセンターで仕分け、圧縮するので**つぶさない**で出す。
 - ・色つき発泡スチロール容器はプラスチック類として出す。
 - * 白色トレイは特別扱い！
白色のものだけを別の袋に入れて出す。
 - ・缶類とペットボトルは必ず別の袋で。
- 4、学校・町内会等へ協力（古新聞・ダンボール・アルミ缶）
- 5、市役所・南支所・各ふれあいサロンへ（電池・蛍光管・綿50%以上の衣類）

会を開催したこともあり、リサイクルマークがついていても、特殊な紙などは一部の業者しか引き取れないものもある…（センターで仕分けしている）など、これからも『センター見学会』や『もっと分別できるよ』学習会等を計画しています。

また、再生会議運営委員会では普通の市民が意見交換をし、少しでも暮らしやすい夕張になるよう知恵をだしあっています。是非、ご参加下さい。

最後に、センターの職員の方には忙しく働きながらも、質問などに快く答えてくださり、仕事とはいえ、頭が下がりました。ありがとうございました。

百聞は一見にしかず。 作文家？ 園泰子

…9月の日程…（会場：市民研修センター 6:30～）

- 10日（金） ゆうばり再生市民会議運営委員会
- 13日（月） AED講習会